

「アトピー性皮膚炎の手記」 石田 純子 26 歳

2005 年 3 月 25 日

私は、22 歳の 11 月頃、気がつくや首に湿疹がポツンと出来ていました。特に気にすることもなく、普通に毎日を過していました。それから 1 ヶ月程が経ち、だんだん顔がむくんだり、肌の調子が悪くなってきました。私は幼い頃からアトピーがあったので（腕の関節や首）、化粧品を使い出してから常に気にしていました。1 月に入ってからは肌荒れがひどく、販売の仕事をしていた私は、接客するのが毎日苦痛でした。

（高校 1 年の頃、1 度松本医院に通い、煎じ薬&ぬり薬を使用していました。当時口の周りが荒れて、くっきりと赤黒くただれていました。そして、しばらく薬をがんばりました。随分ましになり、気が付くと通わなくなり、その後は市販の化粧品で何事もなく過していました…松本先生から「治りました」と言われてもないまま、私は治った気になっていました。）

調子が悪いなあと思ってから、すぐに松本医院が頭にあったのですが、あの薬（煎じ薬&ぬり薬）と高校時代を思い出すと、どこか別の病院で別の治療で…と、気が付くといくつか他の病院へ行っていました。でも、どの病院へ行っても「アトピーは一生付き合っていくといけない病気」＝「治らない病気」と言われ、やはり松本医院しかないと思いました。

松本医院の扉を開いたのは結局 1 月末頃で、松本先生に会うなり「あなたが治ってもいないのに来なくなるから」と怒られました。そして、その後に「絶対治してあげるから！！」と一言。この言葉は本当に嬉しい一言でした。「治らない」と聞かされ続けた耳には、本当にウソでもいいから聞きたかった一言で、涙がポロポロ出てきました。がんばろう！！と力をいただきました。

初日、2 日目と煎じ薬を飲み 3 日目の朝、なんとなく顔が腫れている気がしました。何気に鏡を見た瞬間、全く別人の私がありました。顔全体が赤く腫れあがり、痛く、目も口もほとんど開かず…思ってもいない状態でした。高校の時辛かったと思っていたのが、あれは全然大した事なかったんだと実感しました。

3 日目からは顔、耳、首から黄色い汁が出てはかたまり、出てはかたまりの繰り返しでした。何か食べようと、口を動かすとまた同じ感触で…。寝たままか座ったまま、同じ状態にしていけないと気持ち悪く、鳥肌が立つ日々でした。

毎朝、朝までこんな状態が 2 週間程続きました。お風呂上りに薬を塗っている時、タオルで拭いているのになぜまだ濡れているんだろう…?とっていたのが、汗の様に黄汁が出ていました。本当にこの 2 週間は辛くて悲しくて、自分はこのままどうなってしまうのだろうとっていました。

その後、汗の様に出ていた黄汁は落ち着き、赤黒い顔になってきました。気分も少し元気になり、落ち着いてきたのかなあと思っていたら、顔と首だったのが次には手にも出てくる様になりました。顔に比べると、気持ち悪さも大分我慢できたので、顔に出る分もどんどん手に出てきてくれとっていました。

松本先生に搔いても良いと言われていましたが、顔はかきまくってかきまくって痕が残ったらどうしよう…とっていたので、なんとなく控えめにかいていたのですが、手は顔以上にかゆくて本当に「イー！」とおかしくなるくらいでした。と、半分おかしい状態で、本当に治るのなら！！を信じ、毎日かゆい時は、手がヒリヒリボロボロになるまでかきました。これが治ったら本当にすごい…と、自分でもあきれられるくらいに…。

顔と同じ様にしばらく続き、だんだん皮がめくれる様になってきました。こうなるとだいぶ黄汁の気持ち悪さからも解放されました。ただ、皮と一緒に眉毛もどんどん抜けてゆき、無くなってしまいました。

結局 1 年ほどこれ（かいて皮が取れ）をくり返し、それからは大分ましになりました。見た目はまだまだ残っていましたが、気持ち的にも随分元気になりました。大分表情が作れる様になったからだと思います。にこっと笑えるように…

ひどい頃は、顔を動かすと裂けて切れてしまうので、いつも無表情でいるしかありませんでした。赤ちゃんや幼い子供に微笑みかける事もできず、人に話しかけられても無表情でさらっと流すしかなかったり… 当たり前の“笑う”という事ができないのが、すごく悲しかったです。でも思い出すと、“笑う”という気持ちの余裕もなかったなあと思います。

そして少しずつキレイな肌が見えてくる様になりました。毎日毎日あたりまえの日々を過ごしているうちに、眉毛も自然に生えてくるようになりました。そして、おかしくなるくらいかきむしっていた手は、今では傷跡も全く無く、本当にキレイになりました。ひどかった頃の手を知っている人に「こんなにキレイになった！！」と、見てもらいたいくらい。そしてそれと同じくらい、顔も大分キレイになりました。腫れていたのも赤黒かったのも無くなり、鏡を見れる様になりました。本当に治ってきているんだと、体で感じました。

私は今 26 歳になり、普通に生活をしています。私の悪い所は、肌の調子が良くなるとつい煎じ薬をサボってしまいます。そんな調子でいるので、まだ完全に治らないのかなあと自分でも反省しています…。毎日しっかりたっぷり飲んでいけば、今頃完全に治っているのかも…とつくづく思います。

それと、私は始めから松本先生が「しっかり記録をしていく様に」とおっしゃっていたのに、ヒドくなったらそんな余裕も全く無くなってしまい、記録も無いままに過してしまいました。でも、キレイになった時もっとしっかり詳しく記録しておくべきだったと反省しました。書いていけば、これから手記を読まれる方が、もっと安心して治療を続けられるのにと思いました。

どんな状態がどれくらいの期間続くのか…？というのは、私もすごく不安だったからです。人それぞれ期間は違うと思いますが、具体的にそれぞれの手記に書かれていけば、少しは安心できるのではないかと…今になって思いました。

私は体全体に出ている人に比べれば、かなり楽だったのかも知れません。でもあの感覚、痒さ、辛さは本当に良く解るので、あきらめず耐えてがんばってほしいと思います。

私は辛い日々があった事で、周りの人のやさしさがすごく伝わり、素直に感謝できる様になりました。家族には心からありがとうございます。この事で、家族の大切さも分かる事ができました。そして、前よりも人にやさしくなれる様になった気がします。

だらだらと長くなってしまいましたが、松本先生 本当にありがとうございます。感謝でいっぱいです。そして今、治療を続けている方、松本先生のおっしゃる通りにがんばって続けてみて下さい。自分でも驚くくらい、肌が変化してゆきます。そして必ずニコッと笑える日が来ます！